

第5回揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事要旨

1. 日時 平成19年7月25日(水) 10:00~12:00

2. 場所 主婦会館プラザエフ カトレア

3. 議題

- (1) VOC 排出インベントリ検討会の進め方について
- (2) 推計精度の向上に関する調査方法について
- (3) 法令取扱分類に関する調査方法について

4. 出席者

委員:浦野委員長、指宿委員、桐明委員、久米委員、柴田委員、高戸委員、洞雞委員、南齋委員、野中委員、保坂委員、山口委員、油井委員

オブザーバー:海野氏(日本クリーニング環境保全センター)

環境省:岩田大気環境課長、米田大気環境課長補佐

事務局:社団法人 環境情報科学センター

5. 議事内容

- 事務局より、VOC 排出インベントリ検討会の進め方(案)について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。
 - ・ インベントリの対象としない発生源に係る排出量については、本検討会で検討する固定発生源に係る VOC 排出量の全 VOC 排出量のなかの位置づけを確認する程度のもので検討する。
 - ・ 大気のモニタリング結果で、比較的高濃度が検出された物質については、推計から漏れていないかを確認する。
- 事務局より、推計精度の向上に関する調査方法(案)について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。
 - ・ 化学製品の製造に係る VOC 排出を、発生源品目ごとの排出量に分解するための調査は、アンケートの精度、労力、スケジュールの制約等々困難な点が多いことから、アンケート実施にあたっては、推計精度向上の点でその必要性を十分に検討し明らかにする。また、回答するときに負担がかからないように配慮し、実施可能な調査方法について、(社)日本化学工業協会と十分協議、検討する。
 - ・ 日本標準産業分類等を用いて業種ごとにどのような発生源品目の取扱に係る排出があり得るのかを再度確認する。
 - ・ アウトサイダーに係る排出の実態については、関係する業界団体にヒアリングを実施する。
 - ・ 「その他(不明分を含む)」における排出の実態について重点的に調査を実施する。

○ 事務局より、法令取扱分類に関する調査方法(案)について説明があり、議論が行われた。主な検討結果は以下のとおり。

- ・ 調査の実施の際には、関係する業界団体と調査方法について十分協議を行う。
- ・ 検討会等に提出する計算結果については、事務局の試算であるか、検討会として承認されたデータを明示する。
- ・ 業界団体別の調査を実施する際には、発生源品目別・業種別排出量のどの部分について聞きたいのか、また排出量はどの程度かについて明示する。

<配付資料>

議事次第

VOC 排出インベントリ検討会 配席表

資料1:平成 19 年度 VOC 排出インベントリ検討会の進め方について(案)

資料2:推計精度の向上に関する調査方法(案)

資料3:法令取扱分類別排出量データの収集方法(案)

参考資料1 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリについて(報告)(平成 19 年 3 月、揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会)

参考資料2 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ(平成 12 年度及び平成 17 年度排出量)(平成 19 年 3 月、環境省 水・大気環境局大気環境課)

平成 19 年度 揮発性有機化合物排出インベントリ検討会開催要綱

以上